

平成 24 年度四国地区ブロック会議・連合同窓会（in 松山）開催報告

四国では、毎年、四国地区獣医師大会の開催に合わせ、「麻布大学同窓会四国ブロック会議」と「四国連合同窓会」を四国 4 県持ち回りで開催しています。今年は、愛媛県支部が当番県となり、去る 9 月 8 日（土）、松山市の会場に四国地区同窓会会員 40 名が集まりました。特に今年は、同窓会本部から小野口勝巳・同窓会会長が、また大学からは政岡俊夫・理事長兼学長が、ご多忙の中、直々にご参加くださり、同窓会に花を添えていただきました。

事前に開催したブロック会議には、四国各県の支部長が集まり、四国ブロック代表となる麻布獣医学園評議員や麻布大学同窓会の理事、麻布獣医学会学術委員の選出状況等が話し合われ、これからも「四国は 1 つ！」の心で、伝統の強い同窓会会員の連帯意識を今後も強化・発展していこうと申し合わせました。

また、四国連合同窓会では、戒能豪・愛媛県支部長の歓迎の挨拶のあと、政岡学長からは母校の隆盛と卒業生の就職状況などの近況報告がなされ、また、紫野同窓会長の後任として今年から新しく同窓会長になられた小野口会長からは、地方会員の急激な減少への憂いと、獣医学部の枠を超えた卒業生の結集の必要性などをお聞きすることができました。

さらに、主目的（？）であって懇親会では、愛媛県が開発した今売り出し中のブランド豚肉「愛媛甘とろ豚」を使ったしゃぶしゃぶとすき焼きを囲み、情報交換や大学時代の懐かしい思い出話に夜が更けるのも忘れ花を咲かせました。

最後に、来年度開催予定である松家・香川県支部長から、来年は「うどん県香川」でたくさんの同窓会会員の参加を持っていますと、力強い挨拶があり、またの再会を約束して四国連合同窓会を盛会のうちに終わることができました。

（愛媛県支部 事務局 青野逸志）

